

緑鯨城会便り

ふれあい

第67号
平成28年12月

発行：鯨城会 緑鯨城会
名古屋市高年大学 鯨城学園
編集：緑鯨城会 広報委員会



シャボン玉

十八期 大村 忠

目 次

目 次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		3
運営委員会だより	27 期 陶芸 大平 典正	4・5
第 21 回緑鯨城会趣味の作品展を終えて	28 期 環境 花井 興亜	6
題材	25 期 美術 小田島 五郎	7
趣味の作品展に裏方として参加して	29 期 地域 B 原田 良昭	8
紹介します！緑 23 期会	23 期 生活 B 安藤 勝利	9
かきつばたの里 秋祭	29 期 健康 B 小堂 洋子	10
こころの絆創膏キャンペーンに参加して	29 期 生活 A 遠藤 ハツエ	11
鶴舞クリーンキャンペーン	27 期 生活 B 小澤 順子	12
いざ、浜松へ	28 期 国際 阪野 敏子	13
第 2 回 日帰りバス旅行（航空自衛隊小牧基地等）に参加して		
	28 期 環境 松井 昭雄	14
私と緑鯨城会	29 期 地域 A 水谷 たか子	15
健康体操礼賛（緑鯨城健康体操）	27 期 園芸 浅野 光雄	16
「麻雀を楽しむ」（健康麻雀の会）	28 期 生活 B 水野 光子	17
緑鯨城会グラウンドゴルフ同好会	18 期 文化 A 中島 彰宏	18
楽しい陶芸（緑鯨城陶芸サークル）	23 期 陶芸 楠 英信	19
「銭太鼓みどり同好会」	26 期 福祉 巽 幸子	20
ウォーキング同好会：活動報告	26 期 福祉 加藤 勝江	21
「四国遍路」	17 期 園芸 鹿島 昭裕	23
<半世紀の思いで>	27 期 園芸 増原 作亮	23
社交ダンス始めました	27 期 環境 外山 しをり	24
表紙について	（18 期 環境 大村 忠）	25
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・		25



運営委員会だより

総務長 大平 典正（27 期 陶芸）

第 1 回運営委員会（5 月 21 日）

- ・ 会長（磯部）挨拶
- ・ 代議員会報告（磯部）
 - ・ 31 期生地域ミーティング（5/25 鯉城学園 5 F ホール）
 - ・ 30 期生地域ミーティング（6/20 緑生涯学習センター）
- ・ 幹事会報告（加藤専次）
- ・ 新役員・委員の自己紹介
- ・ 緑鯉城会の平成 28 年度年間予定表について
- ・ 緑鯉城会学区別名簿と広報誌「ふれあい」配達者について（26 学区 40 名）
- ・ 平成 28 年度会員登録者数 372 名（5/21 現在）
- ・ ボランティア委員会
 - ・ 「緑区クリーンキャンペーン・なごや 2016」について（6 月 4 日）
 - ・ 新海池公園清掃（原則第 2 日曜日）・要池公園清掃（原則第 4 日曜日）
 - ・ 特別養護老人ホーム「かきつばたの里」喫茶サポート、緑市民病院受付サポート
 - ・ 鯉城学園図書室ボランティアなど案内と参加依頼
- ・ 行事委員会
 - ・ 5/17 上下水の歴史資料館、7/20 日帰りバス旅行（浜松市）について
- ・ 広報委員会
 - ・ 「ふれあい」第 66 号発行について

第 2 回運営委員会（6 月 18 日）

- ・ 30 期生地域ミーティング（6 月 20 日緑生涯学習センター）について
- ・ 第 15 回グラウンド・ゴルフ交歓会（9/20 瑞穂・田辺陸上競技場）について
- ・ 第 21 回趣味の作品展（10/22-23 緑区役所講堂）について
 - ・ 実行委員会の役割分担、実施要項、日程の確認
 - ・ 作品出展責任者へのお願い
- ・ 会計より
 - ・ 緑鯉城会登録者 380 名で本部に入金
- ・ ボランティア委員会
 - ・ 各種ボランティア参加依頼
- ・ 行事委員会
 - ・ 9/29 日帰りバス旅行（豊山町・犬山市）について
- ・ 広報委員会
 - ・ 「ふれあい」第 66 号発行 7/2 封入・配達者に手渡し

第 3 回運営委員会（7 月 16 日）

- ・ 7/16 サークル活動 同好会リーダー会 9 同好会の現状と問題点・要望など
- ・ 第 15 回グラウンド・ゴルフ交歓会（9/20）の参加募集（各区 10 名以上）

- ・ ボランティア委員会
 - ・ 各種ボラ参加依頼、雑巾ボランティア（目標千枚）7/16 現在 237 枚 今後の協力要請
- ・ 行事委員会
 - ・ 11/16 日帰りバス旅行（湖東三山）について
- ・ 広報委員会
 - ・ 9/3「ふれあい」臨時号発刊 同好会・期別活動について

第4回運営委員会（8月20日）

- ・ 幹事会報告 会費納入者 3552 名となった（緑区 380 名）
- ・ 第21回趣味の作品展・実行委員会
 - ・ ポスター掲示依頼、案内状送付について
- ・ ボランティア委員会
 - ・ 10/8 鶴舞公園清掃クリーンキャンペーン参加者募集について

第5回運営委員会（9月17日）

- ・ 第2回代議員会報告
 - ・ 学生数 1年 558 名 2年 551 名 合計 1109 名 卒業生の再入学を認めるか検討中
 - ・ 新入会員の会費徴収方法 検討中
- ・ 作品展・実行委員会
 - ・ 出展希望状況 9/13 現在 217 点（昨年 285 点） 9/30 までさらに募集を図る
- ・ ボランティア委員会
 - ・ 10/8 鶴舞公園清掃クリーンキャンペーン、11/5 堀川清掃大作戦について
- ・ 広報委員会
 - ・ 12/3 「ふれあい」67号発行予定
 - ・ 緑鯨城会HPについて

第6回運営委員会（10月15日）

- ・ 幹事会報告
 - ・ 学園より 10/6 体育祭、10/19～修学旅行、11/17-19 文化祭
- ・ 代議員会
 - ・ 10/31 臨時代議員会
 - ・ 11/30 31期生地域ミーティング
- ・ 会計報告
 - ・ 予算執行状況 収入は会員数が見込みより多く、増加している
 - ・ 支出は約45%で推移、今後「ふれあい」発行、作品展・区民まつりなどで支出予定
- ・ 広報委員会
 - ・ パソコン勉強会について 11/24、25、12/8 鳴子コミセンにて
- ・ ボランティア委員会
 - ・ 3/12 マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知のボランティア募集 2グループ計60名
 - ・ 雑巾ボランティア 10月末現在588枚 1000枚目標 さらに協力を！

第 21 回緑鯨城会趣味の作品展を終えて

実行委員長 花井興亜(28 期 環境)

今年も緑区区民まつり、緑区社会福祉協議会、共同募金助成事業との協賛にて緑鯨城会趣味の作品展が、緑区役所講堂にて 10 月 22 日(土)、23 日(日)の両日開催されました。

22 日(土)には、近くの大高緑地公園にて盛大に開催された区民まつりに緑鯨城会もブースを出しプラパン製作で子供たちにオリジナルキーを提供し、大いに人気を博しました。趣味の作品展は 6 月から準備を始め、11 部門の出展責任者の方々と役員とで 3 回の実行委員会を開催し、特に出展責任者の方々の並々ならぬ努力により、総勢 190 名の出展者で 260 点の展示品を集めて頂き、10 月 21 日(金)の搬入に漕ぎつけました。



搬入日は区役所の営業日であり、警戒はしておりましたが想像以上の車両が押し寄せ、一時は駐車が出来ないほどの混雑になったこと、今後の課題となりました。

幸い開催両日とも好天に恵まれ、多くの方々のご努力により、無事作品展が好評の内に終了できましたこと、感謝致しております。限られたスペースで、限られた数のパネルを使用しでの展示会場づくりでありましたが、部門間においてお互いに譲り合いの協力関係もあり、また若干展示品の絞り込みもあり、今年は展示状態にゆとりがあって良かったとの声を聴くことが出来ました。

それにしても来場者の方々から作品のレベルの高さはすごいとの話を聞くに及び緑鯨城会の一員として誇りを感じました。高齢者の出展者に混ざって社会福祉協議会の協力により、子供たちの絵などの優秀作品も展示頂き、ご家族の方々にも喜んで頂きました。

また陶芸出展者のご厚意により沢山の作品が無償配布され、来場者の皆さんに喜んで頂きました。尚その際には義援金のご協力も賜り、後日緑区共同募金委員会へ赤い羽根共同募金として 9,302 円納めさせて頂きました。有難うございました。

会場入り口にて調査させて頂きました来場者の居住エリアでは、緑区全学区よりご来場頂き、また緑区外より 2 割強の方が来場して頂いていることが分り、感謝であります。喫茶「緑鯨城」では、緑鯨城会会員熟女の心温まるおもてなしで、作品展を一層盛り立てて頂きました。

準備から開催までの間には沢山の問題が有ったかと思います。来年の作品展に向け、問題点を抽出し、改善策を検討し、今年以上の作品展が開催できる様努力しなければならないと考えます。

今回開催に当たりご協力賜りました、作品出展者の皆様、準備から開催までご協力頂きました関係者の皆様、本当に有難うございました。

題 材

25 期 美術 小田島 五郎

風景スケッチに出かけたいと思いながら、この夏は暑くてだめだった。専ら部屋の中で描くことになった。

妻の鏡台を持ち出し、自分の姿を写し描いた自画像は、四、五枚になった。家人に見せたが、うまくない、似ていない、内面？が出ていないと批判はきびしい。

絵の入門書にも、勉強に自画像を描くことを勧めているし、古来幾多の画人によってなされてきた。

セザンヌ、ゴッホのそれはよく知られている。自分の葬式には、写真より自分の自画像を掲げるのも面白いと思っている。

自分の顔にあきると、冷蔵庫から果物、野菜を取り出して描く。足りないものは近くのスーパーで買ってくる。ここで売っているねぎ、大根、かぶらなどは、みんなひげ根、葉っぱを切り、洗ってあるから自然らしさはそがれている。都心のデパートで葉もひげ根もそのままのかぶらが出ていた。買ったが、炎天下を、家に持ち帰ったら、すっかりしなびていた。

魚屋をのぞいて、生きのよいものがあると買ってきて描く。さんま、いわし、いかなどで、大衆魚といわれる安いものだ。



今日はやりいかとさざえを買った。いか二杯をまな板にのせて、さざえ二個をあしらってみた。あとは、壺焼きといか飯を作って酒の肴にした。

いか飯は、袋状の胴に洗った米を詰め、味付しただしで煮る。慣れないうちは米を詰めすぎて失敗したが、今はコツが分かった。

こっちの腕前は、ままならぬ絵とは違って確実に上達している。



趣味の作品展に裏方として参加して

29 期 地域 B 原田良昭

「一年目は先輩のやることを見ていれば良い」でしたが、口数の多さが災いしたか、いつの間にか私が出展者まとめ及び名簿作成担当です。その時は簡単にやれるだろうと考えていました。作品展参加締め切りも過ぎ、いよいよ作成です。出展責任者の皆さんに集めて頂いた参加者の氏名と作品名を自分の少ない知識で「出品一覧表」を部門別に作りました。点検をお願いしたところ字体の相違、欠落、文字の大きさ等多くの指摘が有り、その修正で大わらわの一週間を過ごしました。点検者も大変でしょうが、私も他の行事と重なり気持ちがどんどん落ち込んで来るのです。しかし支えてくれている多くの方々のことを思うと最後までやり遂げなければと自分に言い聞かせ、何とか期限ぎりぎりに完成することが出来ました。点検者の花井さんには感謝です。（どうせ奥さんでしょうが）終わってみれば最初に行と列の幅、はみ出したときの処理の仕方、字体等の取り決めをすれば半分の労力で済んだのではと反省しています。

次は会場作りです。ボードと机を引き出しながら並べていくのですが「去年はどうだった」と言う声を多く聞きました。並べ終わってみれば、皆さんが作品展で見るあの会場のレイアウトですが、あそこには去年を再現するために、多くの人の力と掛け声が潜んでいるのです。



作品展の裏方として参加させていただき諸先輩が苦勞して積み上げてきたということが良く理解できました。しかし最近、各区鯨城会への参加者減少を嘆く声をよく聞きます。「非効率もコミュニケーションの一つだ」と言う事も聞きますが。やはりこれからは考え方の違う人達を迎えなくてはならない時代です。我々も少しずつ変革し「出品一覧表」も「会場作り」も文字で標準化して残すべきと強く感じました。

「プラパン」作りにも参加し、子ども達の楽しそうな姿がとても印象的でした。オープンの中で「するめ」のように丸くなり元に戻る。神業です！もし失敗したら子ども達に、どう詫びたら良いのだろうと考えると、私にはとても焼くことが出来ませんでした。ごめんなさい！

喜んで受け取っていく子ども達に「幼かった自分と若かったお母さん、お父さんの思い出として大切に」と自分を重ねて心から願いました。

今回は良い経験をさせていただき感謝！感謝！です。



紹介します！緑 23 期会

23 期 生活 B 安藤 勝利

私たち鯉城学園 23 期生は平成 20 年に入学、22 年に卒業し早くも 6 年があっという間に過ぎました。卒業時に緑鯉城会に 57 名（70 名卒業）が入会し、同時に「緑 23 期会」を立ち上げ活動してきました。在学中にはクラスもクラブもそれぞれで、ほとんど接点のなかった新しい顔ぶれが集い楽しい会となっています。今年度は会員数 24 名でスタート、年間行事は総会に始まり、近郊へ出かける種々企画 2 回、そして、新年会の平均 4 回。今までの主な企画は、社会見学（テレビ局、日銀、中央卸売市場ほか）、BBQ、ボウリング、昼鵜飼、桑名や半田散策などなど・・・、毎年度交代で務めている幹事さんの努力で実にバラエティーに富んでいて、毎回多数の参加者が和気あいあいと楽しいひと時を過ごしている。これも、鯉城学園での充実した 2 年間の体験を共有した仲間ならではの素晴らしい関係ではないかと実感している。

さて、今年の企画を紹介させていただきます、3 月の総会に始まり、5 月には「名古屋市港防災センター」で防災講習、施設見学および防災体験を実施、そして、何と真夏の 8 月には、参加者誰もが何十年振りかの屋上ビアガーデンで“暑気払い”懇親会を開催した。若者グループ、女性だけのグループ、カップルなどの中に、われわれのような高齢者グループも散見されるなど、とにかく平日にも拘わらず大変な賑やかさ！

飲み放題、食べ放題のシステムやビアガーデン全体の光景や雰囲気は昔とかなり違ってはいたが、何より嬉しかったのは高齢者に優しい料金設定でした（下記参照）、制限時間 150 分一本勝負！ビールやソフトドリンクの種類の多さ、お肉、デザート、ラーメンなど食べるものの種類も半端じゃない！参加者全員若かりし頃を思い出しおおいに飲み、おおいに食べ、おおいに笑って盛り上がった。楽しい“暑気払い”のひとは大成功でした。

緑 23 期会は 4 グループに分け、グループ幹事制をとり、グループメンバー 6 名が共同幹事として協力し、無理をしない、過度な負担にならない企画を基本ベースにして、会員が元気な顔を合わせ、楽しく語り合う緑 23 期会が一年でも長く続くよう願っています。



ビアガーデン料金

年 齢	料 金
65 歳未満	¥4,000.-
65 歳～	¥3,500.-
70 歳～	¥3,000.-
75 歳～	¥2,500.-
80 歳～	¥2,000.-
90 歳以上	¥ 0.-



かきつばたの里 秋祭

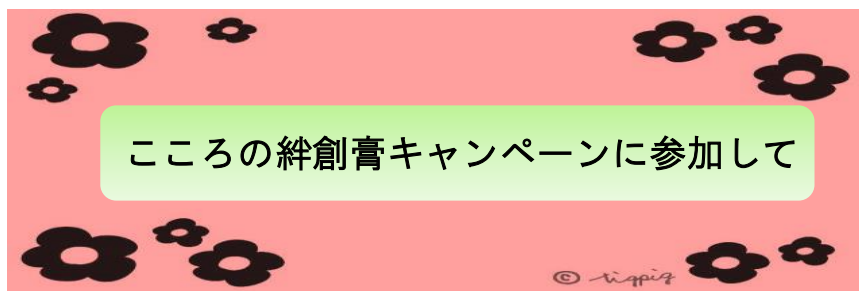
29 期 健康 B 小堂 洋子

秋雨前線が逸れて、久々の良いお天気になりました。楽しい秋祭りになりそうです。
玄関前に着いた時には、職員の人達がお揃いの法被を着て、用意をされてました。
私も早速、焼きそばの調理を始めました。
普通の焼きそばと、噛みにくい人の為に材料を細かく刻んだものでも作りました。パックに詰めて
いると、家族の人達と一緒に多勢の人が並んで待っています。たこ焼き、フランクフルト、焼きそばをもらって皆さん嬉しそう！
最後はアイスです、最新マシンから出てくるソフトクリームがおいしそう！



11時になると皆さん玄関前に移動です。大きな旗が振られ、勇ましくてカッコイイ「よさこい」の始まりです。
職員の方達は大変でしょうが、たくさんの笑顔が見られて、楽しく有意義なボランティアでした。これからも続けていってほしいと思います。

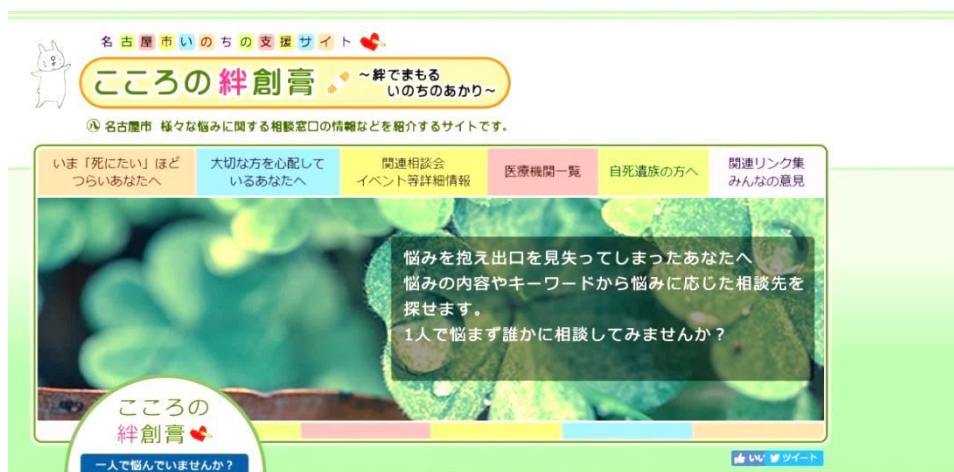




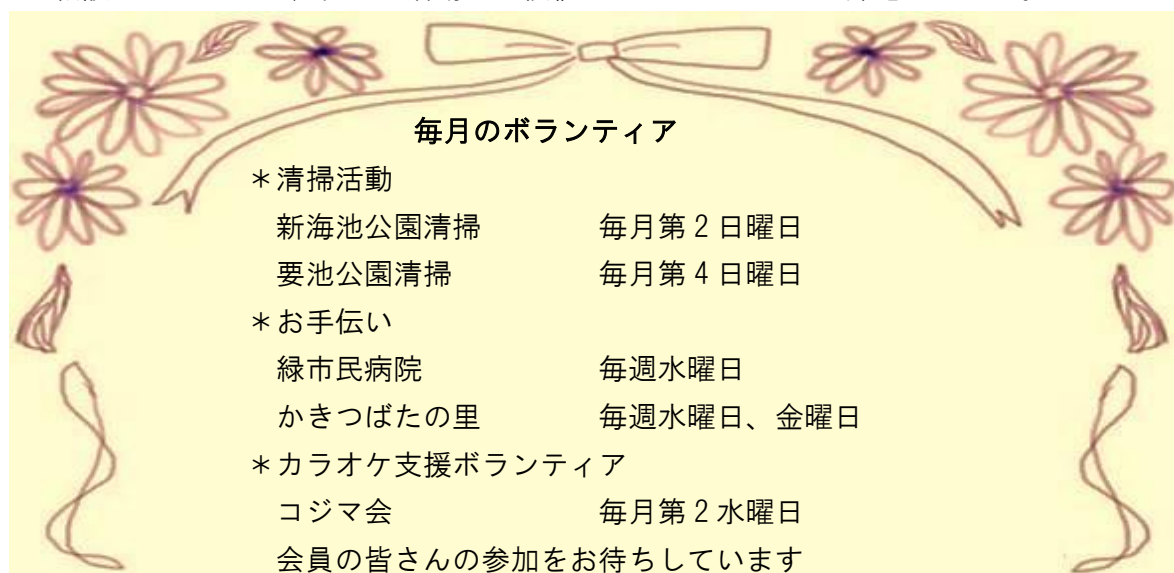
29 期 生活 A 遠藤 ハツエ

9月9日 金山総合駅にて、早朝の部8時から夕方の部17時30分から配布、私は夕方の部に参加 千種7名・南8名・守山10名・緑8名・交通局2名・名鉄3名の約38名で一人100個 配布です。

名古屋市のこのキャンペーンとは、様々な悩みやストレスで心理的に追いつめられた人のこころの傷が小さい内に人と人との絆で手当てしたいという想いを込め実施しているそうです。本市の自殺者は、交通事故死亡者のおよそ10倍との事です。



初めは人の波の中、声を出し渡すことが出来ず、1人2人と渡していく内に気持ちが大きくなり30分ほどで配り終えることが出来ました。1人でも多くの方がこの絆創膏を使い、又 相談してくれたら、私達の活動した価値があると思いながら帰宅しました。



鶴舞クリーンキャンペーン

ボランティア委員長 小澤順子 (27 期 生活 B)

10月8日(土)に予定されていた鶴舞の清掃。 その2, 3日前から日々天気予報を気にしていましたが、やっぱり週間予報どおり午前中の降水確率60%ということで、延期になってしまいました。

結果的には一日中雨が降ることもなく曇りだったのです。それは仕方のないことなのですが。

翌週10月15日(土)は、前日から天気
の心配もなく快晴でした。

集合時間より早く続々と集まってくださいました。緑区の旗も立て、緑のベストもない人には貸し出し、軍手やビニール袋を手に開会式を迎えました。記念写真を撮り、それぞれごみを拾いに泰楽堂の周りをまわってくださいました。

近頃話題になっているポケモン go の聖地で人がたくさん集まっているということで、以前よりはごみが多いかと思いましたが、その割には例年くらいだったようです。

8日に開催されていたなら、一緒に参加される30期、31期の学生さんと親睦を兼ねて昼食会を持つ予定でしたが、緑鯨城会の役員会、運営委員会の予定があり、お流れになってしまいました。結局参加人数は、鯨城会が21名 学生が16名でした。

申込み人数は56名だったので、鯨城会社会奉仕委員会からは、緑の方は意識が高いですね、と評価をしていただきました。

いろいろのボランティアに積極的に参加して見える人とお付き合いしていると人生を楽しみ、謳歌して心豊かに過ごされていて、うらやましく憧れます。

人は一人では生きられない。人と支え合い、楽しみ合ってこの先も生きていけたらよいなあと思っています。人生を楽しんで、また少しはほかの誰かの役にも立ち、共に感謝し合え、そんな暮らしが送れば良いなあと願っています。



いざ、浜松へ

28 期 国際 阪野 敏子

7月20日。今年の夏は、早くから猛暑が続き、なぜこんな時期にバス旅行を企画してしまったのかと心配しつつ、当日を迎えました。でも、バスの中は快適な温度に保たれ、みなさん元気いっぱい和やかに挨拶など交され安堵いたしました。

最初に訪れたのは、浜松市楽器博物館です。古今東西から集められた1300点もの楽器が、地域別テーマ別に展示され、その音まで傍らのヘッドホンから聞くことができます。充分すぎると思っていた見学時間があっという間に過ぎました。そして昼食。渡り廊下でつながったお向かいのアクトタワー内のレストランで、名物の浜松餃子その他をいただきました。



午後からは、徳川家康公が青壮年期を過ごした浜松城へ行きました。鉄筋コンクリートの小さなお城ですが、石垣は昔のまま、400年の歴史を刻んで私達に語りかけてくれます。又、出世城ともいわれ、歴代の城主となられた方が多くが江戸幕府の要職に就くことができたそうです。その後、浜松フルーツパークでフルーツのバイキングに挑戦し、おしゃれなお土産屋？さんで買い物を楽しみました。車中では カラオケ ビンゴゲーム おしゃべり、お休みタイムと盛り沢山すぎて、どこも時間が足りない！！状態。

高齢とはいえ、さすが旅慣れた強者の集り熱中症などにもならず、多忙な一日を充分満足していただけたようです。ありがとうございました。またのお越しをお待ちしています。

第2回 日帰りバス旅行（航空自衛隊小牧基地等）に参加して

28 期 環境 松井 昭雄

9月29日行事委員会によるバス旅行があいにくの曇り空での出発となり（雨男と嘆いていた浅野委員長）しかし、一度も傘を使用することなく、いや昼頃には日傘で使用する事となり快適な旅行日となり、楽しく・予定通り行われました。 予定人数48名で予定時刻の出発で最初は航空自衛隊小牧基地に向かいました。

1. 航空自衛隊小牧基地 : 私自身は2回目の見学となりますが、一般世間とは違う基地内での緊張感は以前も感じたのを覚えています。最初は30分ほどスライドを交えた全体の説明でした。

(1) 基地内は小牧市・春日井市・豊山町の中にあり、1200万平方メートルの広さで1800人の隊員が務めており、基地内の独身寮は非常に狭く2段ベットと机だけで、非常に狭い部屋とのことに今の時代に意外性を感じました。

(2) 全部で8部隊があり簡単な任務の説明がありましたが、私が特に興味あったのは、「気象隊」で気象状況を独自で観測・記録し、中央に報告すると同時に天気図を作成して、パイロット等に資料を提供する任務内容でした。

(3) 説明を聞いた後、観光バスに乗り飛行場内への移動でしたが、出発してすぐに止められ数名の隊員によりタイヤの点検を数分間行い、OKがでての走行でした。タイヤの何を点検したか?の質問に誰一人正解はありませんでした。分かりますか?正解は「タイヤに付着したごみ類だそうで、そのごみを飛行機類が拾い故障になれば、何千万の莫大な修理費が必要になるためだそうです。

(4) さていよいよ飛行場の中へ移動して、機内の説明と搭乗です。最初は格納庫で点検しているヘリコプターの説明は後ろの方にいたことと、最近特に耳がとおくなり、良く聞こえませんでした。

(5) そしてC-130Hという輸送機内の見学です、人も荷物・資材・重機類等何でも運ぶ飛行機のため中は寸胴(空洞)です。操縦席も計器がたくさんで、もちろん人力操縦で非常に狭く、なれるには訓練も必要ですが大変だと思いました。



2. 犬山城 : 当日は地元ボランティアの人の案内で急勾配階段を天守閣までのぼりました、天候も良く何時来ても「この景色」には感動します。

3. 成田山貞照寺 : 2回目の来寺ですが、住職の講和を聞くのは今回が初めてです、着く時間の違いで最初は不機嫌そうでしたが、真木をたくさんの方が納めた結果、講和は思ったより長く、気持ち良く送ってくれました。



この企画をした27期行事委員2名様ご苦労さまでした、来年は28期が主で行いますので、ご指導よろしくお願いします。そして、毎回お世話になります名鉄観光の布目さんには感謝・感謝です。

最後に会員の皆様にはこのような行事に大勢の方の参加をお願い致します。

平成29年2月8日(水)大須演芸場「お笑い寄席」鑑賞会を予定しています。

私と緑鯨城会

29 期 地域 A 水谷 たか子

「お母さん、高年大学に寝に行くんでしょう？」その通りです。地域 A の一年生は名簿順に座り、私は七班で前から七列目に座っていました。授業中は我慢できずに居眠りをしてしまいます。ところが二年生になって席が一か月毎に八班が最前列に、その次は七班が最前列にと順に席が変わりました。

一番前の席の時は、眠ってはいけないと、緊張したことを思い出します。授業は辛抱して受けていましたが、鯨城学園で多くの友人が出来た事が何よりの収穫で入学して本当に良かったと思っています。

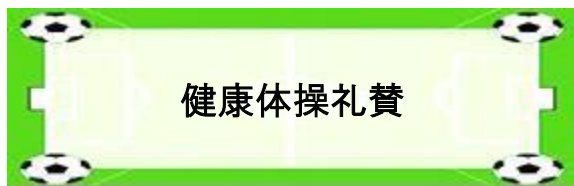
卒業後は、クラスで毎月当番の班が何処かに行く事を決めて、今年度は①名古屋城②名古屋能楽堂見学（日本料理大森）③名古屋証券取引所見学④宗次ホール（志摩）⑤忘年会（店長の隠し部屋）⑥大須観音（太閤本店）⑦名古屋地方裁判所見学（KKR ホテル）、その他毎月第二水曜日は歩く会、第三水曜日は居酒屋「天狗酒場」での飲み会と、行事が盛りだくさんあります。私は楽しくて毎回休まず出席しています。



緑鯨城会では 29 期 期別委員ですが、平成 28 年 10 月 22 日、23 日の 2 日間「第 21 回趣味の作品展」がありました。私は受付の近くの喫茶コーナーでお茶の接待係をする事になりました。高年大学在学中はお客さんで、趣味の作品展を観に行っていました。今度は来館者へサービスする係です。

皆さんが趣味の作品展に行ったら良かったなあ～と思って戴けると良いなと、思いながら一日を過ごしました。





27 期 園芸 浅野 光雄

本年 6 月に同好会として立ち上り、早くも 6 ヶ月が過ぎました。毎週金曜日の午前に実施しています。会員は 35 名が在籍し、毎回 25 名前後が出席されます。会場は名鉄鳴海駅南の瀬戸信金 3 階フロアで、広さも程よくエアコンも良くきき、この夏場も快適に過ごせました。

先生は高年大学 31 期生現役でもある七里正子さんです。大変明るく、ユーモアも交えながらテキパキと進行していただいています。全員の輪で相互の挨拶が終わると柔軟体操で体をほぐします。その後は脳トレ体操です。両手・指 左右反対の動きが、足を使うことでなかなかまともにできません。ゆっくりはできてもスピードアップでギブアップです。頭の中がカッカと熱くなります。先生にはそれが良いのだと慰めていただいています。次はダンスステップによる足の鍛錬です。懐かしい飯田久彦のルイジアナママの曲に乗って、前マンボ、後マンボ、前に横に三拍子。これも速い曲に足がもつれ、あちらこちらに失笑が出ます。最後に自前のマットに寝たり、横になったりで体の各部位のストレッチをして終わりです。



1 時間半はアツと云う間に過ぎます。終わった後には眠っていた関節がフツフツと芽吹くような感触を覚え、気持ちがスッキリとします。いままで如何に体を使っていなかったのかと思い知らされました。

体操を始めて 1, 2 ヶ月過ぎたところでゴルフの方も諦めていた 80 台が出たことも嬉しい出来事です。

この体操は永く続けてゆきたいと思います。
“健康体操 万歳！” です。



「麻雀を楽しむ」

28 期 生活B 水野 光子

“ふれあい”をお読みの皆様、こんにちは。

初めに私が、麻雀を知ることになったきっかけからお話をしましょう。退職してからある日、友人宅を訪れましたら仲間達が、時の経つのを忘れたかのようにそれは楽しそうに麻雀をしていました。

それからです。牌に触れてから今は3年目。やっと麻雀のイロハの“イ”位が理解できるようになったのかなと思います。仕事も趣味も稽古事も3年続けば儲けものと自負しています。なので麻雀は、私のこれからの人生を楽しく過ごさせてくれるものと大変うれしく思っています。

麻雀は一人ゲームではありません。他のグループの方たちがプレーしている時もあります。ゲーム中は皆さん、手指を使い、頭ん中の脳細胞は全開、フル回転で真剣です。そこで言えるのが、マナーとルール。

大声を出さない。たたき牌をしない。点棒のやり取り等々。いろいろありますが、気持ちよく長く楽しむには、それらの事を少し心掛けることも大切です。

随分お歳を重ねた方が云っておられました。「今まで長い人生、海外旅行、習い事、いろいろしてきたけれど、麻雀をしている今が一番幸せ♡ 最高ッ!」とのこと。

私も毎週木曜日の同好会が、何よりも待ち遠しい一日であります。

少しでも興味をおもちになられた方は、どうぞ一度覗いてみてください。お待ちしております。



緑鯨城会グラウンドゴルフ同好会

18 期 文化 A 中島 彰宏

高年大学を卒業して早いもので10年が過ぎました。卒業後先輩諸氏に誘われ、初めてグラウンドゴルフを始めました。早速同期の友人と道具を一式購入して学区の方々のメンバーに入れていただき、近くの公園でプレーを楽しみました。

其の後、NPOたすけあい名古屋のメンバーにも入れていただき多い時には週に4回ほど汗を流しました。又、愛護会という会を立ち上げゲートボールを週3回ほど行っています。又鯨城会のグラウンドゴルフ交歓会にも毎回参加させていただいています。

先日の第15回大会にも参加し、汗を流して参りました。以前は鶴舞公園が会場でしたが、今回は瑞穂グラウンドの北側の田辺陸上競技場が舞台でした。グラウンドの状態は最高でした。スコアの良い方が多数おりレベルの高さを感じました。これからも健康に留意しながら続けて参りたいと思っております。

これから始められる方も是非一度参加して見ませんか。
同好会々員一同お待ちしております。





23 期 陶芸 楠 英信

先輩の紹介で緑鯨城陶芸サークルにお世話になりました。

何事でも思う様にならないのが常ですが、陶芸で使用する粘土も同じで、これがなかなか頑固で自分の思う様にはなりません。

何度も何度も失敗の連続で出来上がった作品は、少々ゆがんでいようが、重かろうが、色彩が変であろうが自分にとって最高の出来と満足をする事にしています。

当サークルは全て自分達で計画、運営を行っています。



専属の先生はいません、すべて自由作陶です、彩薬の調合、粘土購入、焼成等、交代で行っています。他の教室では経験する事が出来ない貴重なことを先輩の指導により体験出来、非常に勉強になっております。

現在30名ほど在籍しております、鯨城学園卒業生が15名ほどになりました。残念な事ですが男性が全体で9名ほどで、完全な女性社会になっております。

新入会される方が少ないためか？当サークルも高齢化が進みいろいろな面でお互いに気を付け合い、助けあいながら楽しい時間を過ごしたいものと考えております。

年間行事として、緑生涯学習センターまつり・緑鯨城会趣味の作品展に参加しています。趣味の作品展では、会員の皆さんより、提出いただいた作品を来場者の方々に、お持ち帰り頂きました。その作品が少しはお役に立てた事に大変嬉しく思っています。

その他見学会、食事会等の計画もありますので、いつまでも元気で何事にも積極的に参加したいものだと考えております。





「銭太鼓みどり同好会」

26 期 福祉 巽 幸子

銭太鼓との出会いは、26期のクラスに同好会があり、それが初めてでした。在学中の修学旅行先で、同好会のメンバーがとても上手く楽しそうに演じているのを見た印象が、私の中に強く残っています。

昨年暮れの事、加藤勝江さんが、緑鯨城会の総会に銭太鼓をやろうといわれ、急きょ10名位でわかチームを作りました。最初はやれるかなと不安でしたが、やり始めるととても楽しく総会の披露の後は、達成感が有り、又続けてみたいと思いました。

そして今年の5月に約8名で同好会を発足、26期の坂井田宅をお借りして月2回土曜日に練習をしています。発表の場があると目標があってやりがいがあるのではと、10月13日に「かきつばた」で初めてボランティアを行ないました。

総会で演じた「これから音頭」と「おもちゃのチャチャチャ」に加え「三味線ブギウギ」と「サザエさん」の4曲で行いました。

合間に小谷さんが、すばらしいハーモニカ演奏をして下さいました。

「出船の曲」を利用者さん達は、ウットリとした表情で聞いておられました。

皆さんと一緒に懐かしい歌を3曲歌っていると、最近表情が少なくなった100才を越えた方も声を出して嬉しそうにいつまでも歌っておられました。喫茶ボランティアで私達の顔を覚えておられる方もあり、和気あいあいとさせて頂きました。終了後、充実感と少しでもお役に立てた喜びで一杯になりました。

銭太鼓に少しでも興味のある方は是非一度、気楽に練習風景を見に来て下さい。多少まちがっても笑いとばし、楽しく和やかにをモットーにしています。お待ちしております。



ウォーキング同好会 活動報告

26 期 福祉 加藤勝江

28 年 7 月 30 日：伊吹山山頂お花畑を散策

晴天に恵まれ、たいへん気持ちの良いウォーキングでした。直通バスで山腹の駐車場まで運んでもらい、あとは澄んだ山の空気を吸いながらちょっぴり登山気分。遊歩道の脇には様々な高山植物が咲き誇り、気分も爽快！



28 年 9 月 30 日：半田・矢勝川堤の彼岸花



名鉄電車を利用して

半田地区へ。新美南吉ゆかりの権現山をかわきりに、見事に咲いた彼岸花の群生を愛でながら矢勝川堤を歩き、秋の空気を満喫。

28 年 11 月 30 日：美浜オレンジライン

(寄稿日 11 月 5 日のため実施内容は HP みどりの広場を見て下さい)

————— 29 年 1 月からの予定 —————

1 月 30 日(水) 初詣でウォーキング(津屋川・揖斐川と千代保稲荷)

集合場所・時間 近鉄名古屋駅ホーム 8:40 集合 レベル 1 歩行距離 7 km

アクセス 近鉄名古屋 8:52 (準急四日市行 440 円) → 桑名 9:19 (養老鉄道に乗換)

桑名 9:25 (大垣行) → 駒野 9:55 養老鉄道はカード不可小銭 460 円を用意

復路は海津市バスで羽島駅 (300 円) 名鉄新羽島から笠松経由で帰ります (760 円)

コース 駒野駅……津屋川と揖斐川の合流地点……揖斐川堤防・今尾橋・千代保稲荷

*「おちょぼさん」として親しまれている千代保稲荷は参道に多くの食事処もあります。

寒い時期なので昼食は千代保稲荷のお店でランチします。 名古屋着 15 時半頃

3 月 30 日(木) 鵜沼の森ハイキング レベル 2 歩行距離 6 km

集合場所・時間 地下鉄(名鉄)上小田井駅ホーム 9:30 集合 名古屋 16 時頃解散

アクセス 上小田井 9:39 → 10:06 新鵜沼 (500 円) 西口 10:31 → 鵜沼の森 (100 円)

コース 鵜沼の森センターハウス・ふれあいの広場・ふるさと展望の丘・さえずりの道
(陰平山・三角点≒240m)・見晴塔、平和観音・見晴台・いこいの広場・新鵜沼

持ち物 弁当、飲み物、雨具、ストック、 *動きやすい服装・帽子・歩きやすい靴

雨天中止 前日の午後 6 時 52 分 NHK 天気予報で降水確率が午前・午後 50%以上は中止

*参加は自由です。 参加される人は時間までに集合して下さい。

*連絡先 加藤勝江 090-3564-7523

「四国遍路」

17 期 園芸 鹿島 昭裕

それ程信仰心はないが余生の有り方として遍路も有りと順と逆の2回行いました。平成26年4月、先ず知多四国遍路の中型バスで7時半名駅出発して88か寺プラスアルファを4回に分けて1日に23か寺を、夕5時まで巡拝するツアーに参加しました。各寺で約30名が20分以内に手洗い、先ず本堂で線香、ローソク、賽銭、般若心経を詠み、次に大師堂で同じことをするが、駐車場から寺まで遠い場所もあり大変忙しく、1万歩近い日もあり無心で巡拝できました。



昨年は、高野山開創1200年記念の四国遍路のジャンボタクシーの半周ツアーに参加しました。前半周は3月中旬の6日間で48か寺で1日8～10か寺ですが、知多に比べて寺間の距離が長く、ここでも各寺の時間は約20～30分で大忙しです。大きい荷物を背にした一人だけの歩き遍路、多くは若い男、時には女、また時々外人をタクシーの窓から見ました。タクシーでは遍路8回目の88歳と男2人に女性5人と同乗で、宿は同乗の2人と別の車から3人の同年代の男性3人でしたので、まさに一期一会の旅でした。後半周は3月下旬の6日間で、比較的若い男性4人と同宿の最後は高野山で泊まり、4月2日は全国から約400人の僧侶が参加する1200年記念行事で、本尊の開帳や中門の再建に2横綱白鵬、日馬富士の土俵入りの型の披露がありました。

今年は4月初旬に88番からと10月中旬の36番からの半周の逆回り遍路のジャンボタクシーツアーに参加しました。順廻りは弘法大師の後を辿るが、4年に1度の逆廻りは、大師にすぐ会えることと険しい道が多くより功德があると言われる。今回のツアーでは車に同年輩の男と女性5人で、宿は同乗の男と別の車から男性3人の5人でした。遍路の間は、昼間は忙しく動きまわり、夜は疲れて早々に寝につき朝も早起きして、時には朝風呂に入り同宿者と競うように洗面や食事を終えて8時前に出発するので、無心で迷いの無い遍路でした。

写真は昨年のツアーで高野山に着いてタクシー内の同級生（左）と50年ぶりの出会いをしたものです。



< 半世紀前の思い出 >

27 期 園芸 増原 作亮

つい先だって、9月29日行事委員会主催の犬山城と航空自衛隊小牧基地見学に参加しました。小牧基地では日本開発の小型ジェット旅客機「MRJ」が格納庫から姿を現しており、美しい姿を見ることができて感動しました。小牧基地は探索と輸送を任務としているそうです。C-130Hと言う大型輸送機は30年間使用しており、今でも1か月に1回程度海外部隊へ物資輸送の任務に就いているそうです。犬山城は天守閣入り口で、中の急な階段に恐れをなし、天守閣に登ることを止めて公園から城下町を眺めるにとどめました。

見学を終えて帰りのバス中でオータムジャンボ宝くじが1枚ずつ全員に配られました。ウトウトしていて確かではありませんが参加記念でしょう。この宝くじを参加者に1枚ずつ配ると言うことは私にとって大変懐かしい思い出です。入社して間もない頃ですから昭和40年代初めです。この頃は5月1日と言えばメーデー（今では死語でしょうか）の集会が鶴舞公園のグラウンドで有り、ナショナルセンターの幹部や来賓の激励、シュプレヒコールを上げてデモ行進を行いました。私の所属組合では参加者には宝くじが1枚配布されました、この時は1等百万円だったと思います。この時は当選番号を確認した覚えがなく何処かへ消滅してしまったのでしょうか。一枚の宝くじが半世紀前のことを思い出させてくれました。行事委員さん、有難う。



今回頂いたジャンボ宝くじ1枚は、無くさないで必ず当選番号を確認しようと思っています、1等の当選確率1千万分の1を狙って。なんと自分は欲張りな人間なんだろう、交通事故・飛行機事故・火事・難病などの確率の高い災難には遭遇せず、1千万分の1には当たってほしいと思う心。当たらないのが平凡で幸せかな。午前は「暴れん坊将軍」午後は「徹子の部屋」「午後のサスペンス」「水戸黄門」、時々ボランティア、また時々スポーツセンターで汗を流す。

こんなグータラでぜいたくな生活もいいな・・・。



社交ダンス始めました

27 期 環境 外山 しをり



学科の後の席の人に声をかけられて始めた社交ダンスは、もう 3 年になる。

最初は母の介護もあり、月に 2 回の練習だった。逆上がりも自転車の運転もできない運動音痴の私には、「健康のためにこのくらいなら」という思いもあって始めたのだが、思い通りに動けない。甘かった。「すいません、踊れません。」と何度言ったことか。そして回されて、何度フラフラになったことだろうか。

そんな私に嫌な顔一つしないで、「誰でも最初はそうだよ」と慰められ、何とか続けている。母が施設に入って少し負担が減ってからは、週一回の練習となった。

少しずつ、本当に少しずつ足がついていき、心に余裕が持てるようになって、あることに気付いた。自分が自分がと考えていると、うまく踊れないのだ。

リードしてくれる相手に添い、相手を感じて踊ってみることが、まず大事なのだと。

今年は初めて、天白生涯学習センターの文化祭に参加させていただいた。

学科の友人も数人来て下さり、緊張の中で何とか踊りきることができたのが、いい思い出となり、また音楽に合わせて踊ることの楽しさもわかってきた。

それでも相変わらず、「すいません、タンゴ苦手です」。足を踏んでは「すいません」と毎回のように言っている。そして、「何を練習しているの？」と聞かれても、「ええと、何だっけ」。「次はルンバ」と言われても、「ルンバはどれだっけ」と答えている困った生徒に変わりはないのである。

ただ相手に添うばかりでなく、自分でもきちんと覚えなければと思うようになってきた。少しの進歩である。 さあ、めげずにがんばるぞ！



表紙について

18 期 環境 大村 忠さんの今年度第 54 回緑区民美術展写真の部「教育委員会賞」受賞作品です。写真歴はもう 60 年以上、昨年から依頼していて漸くお願いできました。平成 19 年度のボランティア委員長を務め、すでに「ふれあい 39 号・40 号・41 号・45 号」と平成 21 年 11 月発行の創立 20 周年記念 46 号で表紙写真を飾って頂いています。

(昨年の趣味の作品展会場で)



編集後記

「暑いなあ」「今年の夏は暑かったねえ」からもう 12 月、皆さん今年はどんな年になりましたか？ 振り返るとき、若いころなら仕事の変化や子供たちの成長具合などいろいろありますが、60 過ぎるとせいぜい孫のこと位。

でもこれが一番、年を取ったら「節目」はない方がとも。

会員の方の中には、こんな素晴らしいときを迎えた方々もいます。今年の緑区民美術展において表紙を飾って頂いた大村忠さんのほかにも、「写真の部」で 26 期伊藤靖子さん・「洋画の部」で 27 期西川吉孝さんが入賞されています。昨年度は「書道の部」24 期伊藤文雄さん・「洋画の部」27 期西川吉孝さん・「写真の部」24 期内山品幸さんが入賞、いつもながら会員の皆さんの多才ぶりに驚きます。

次号 68 号は来年 3 月 4 日発行の予定です。ご寄稿を是非お願いいたします。

広報委員会

27 期 渡會恵一 西川吉孝 吉村節子
28 期 山森雅子
29 期 奥村和郁 熊田八郎